

都市計画道路3・5・102号家富町堀込線 中橋架替事業について

栃木県県土整備部都市整備課

1 はじめに

一級河川・渡良瀬川に架かる足利市のシンボルとも言える3連アーチを有する「中橋」について、堤防の嵩上げにより市街地の治水安全度を向上させるとともに、交通渋滞の緩和や歩行者・自転車の安全かつ円滑な通行の確保を目的として、令和3年度より架替事業に着手しました。

現在の中橋の位置に車道橋を新設するとともに、既存の3連アーチは下流側に移設し、歩行者・自転車専用の側人道橋として再生させることで、景観的・歴史的に貴重であり、市民に親しまれてきた中橋を後世に継承することとしています。

2 事業の概要

事業延長 L = 644.0m 以下、主要構造物

- 中橋側人道橋（鋼単純箱桁橋 + 3 連アーチ橋）
- 中橋（鋼 5 径間連続細幅箱桁橋）
- 通跨線橋（PC 単純中空床版橋 + 4 径間連続鋼床版鈑桁橋）



写真1 渡良瀬川の左岸堤防

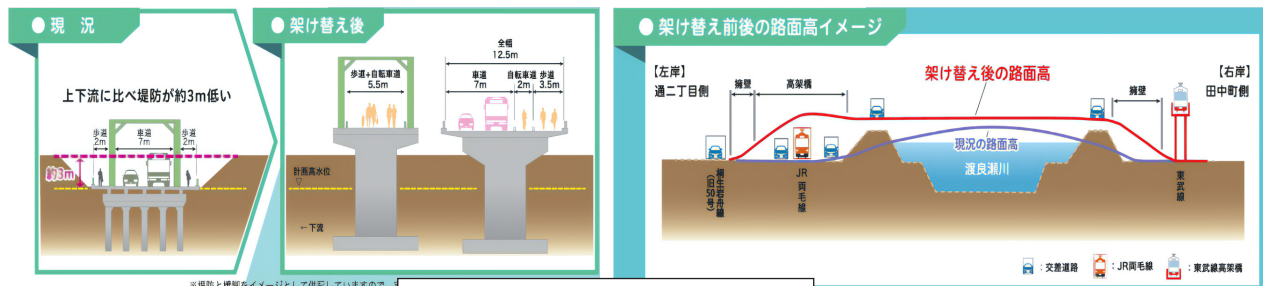


図1 中橋架け替え前後のイメージ

3 取組状況

令和6年度冬には、750 tクレーンを2台使用した大規模な3連アーチ移設工事を実施しました。市民の皆様に広報しながら安全に施工を進め、令和7年5月11日には新たな歩行者・自転車専用橋の開通を祝うとともに、後世へ引き継がれる中橋への愛着をさらに深めていただくため、開通記念イベント「おかえり中橋」が盛大に開催されました。



写真2 アーチ移設状況



写真3 イベント開催状況

4 終わりに

中橋架替事業は、県民・市民の生命と財産を守るためのハード整備であり、一刻も早い完成が望まれています。また、都市計画道路として足利市の“顔”となることが期待されており、魅力的な景観形成と安全な整備が求められています。今後とも、関係機関のご理解とご協力をいただきながら、事業の早期完成に向けて関係者一丸となって取り組んでまいります。